

仕様書

1. 顕微鏡部

- 1-1. 門型顕微鏡であること。
- 1-2. レボルバー上下動式電動焦準機構を備えていること。
- 1-3. 焦準機構のストロークは 20mm 以上であること。
- 1-4. 焦準機構の最小ステップは $0.01\mu\text{m}$ 以下であること。
- 1-5. ステージを除いた状態での最大空間サイズは $640(\text{W}) \times 355(\text{H}) \times 520(\text{D})\text{mm}$ 以上であること。
- 1-6. スライドレボルバーを有すること。
- 1-7. ラボジャッキ式マニュアル Z ステージを有すること。
- 1-8. マニュアル XY ステージを有すること。
- 1-9. 水浸 25x 対物レンズを有し、補正環を備えていること。
- 1-10. 水浸 25x 対物レンズは NA 1.05 以上、WD 2mm 以上であること。
- 1-11. 目視蛍光観察用 LED 光源を有すること。

2. スキャナー、検出部

- 2-1. ガルバノスキャナー及びレゾナントスキャナーを有すること。
- 2-2. スキャン用ミラーは銀コーティングが施されていること。
- 2-3. ガルバノスキャナーの画像サイズは $64 \times 64 \sim 4096 \times 4096$ ピクセルを含む範囲で調整可能であること。
- 2-4. レゾナントスキャナーの画像サイズは $512 \times 32 \sim 1024 \times 1024$ ピクセルを含む範囲で調整可能であること。
- 2-5. レゾナントスキャナーの走査速度は 1024×32 ピクセルにおいて 438fps 以上であること。
スキャナーの視野数は 20 以上であること。
- 2-6. 蛍光検出器は冷却シリコンフォトマルチプライヤーを採用しており、2Ch 以上有していること。
- 2-7. 蛍光検出用に、GFP 及び RFP 用のフィルタキューブを有していること。

2. 制御装置、ソフトウェア部

- 3-1. 制御装置の OS は Microsoft Windows11 64bit 以降であること。
- 3-2. ソフトウェアから平均化または積算スキャンが可能であること。
- 3-3. 最大値輝度投影処理が可能なソフトウェアであること。